

# 仙台市市民協働事業提案制度

## 仙台市立病院×パーソナルサポートセンター協働による がん患者等に対する再就職支援及び就労継続支援事業 平成29年度事業報告

2018年9月5日



一般社団法人  
パーソナルサポートセンター

# 団体の紹介

## 一般社団法人パーソナルサポートセンターの概要

- 団体名：一般社団法人パーソナルサポートセンター
- 団体のミッション  
分野を越えて様々な団体が連携し、支援を必要としている方を様々な社会福祉制度やサービスにつなげ、その方が地域で安心して暮らすことができるようにお手伝いする。それらの実践の中から学び得たことを通して、人材の育成や社会制度の整備に向けた提言等を行っていく。
- 構成員  
仙台・宮城を中心に活動する14団体＋協力1団体
- これまでの取り組み
  - 被災者支援事業  
東日本大震災の被災者生活支援及び就労支援、仮設住宅の見守り、仮設住宅から転居する際の支援
  - 生活困窮者支援事業  
生活困窮者自立相談支援、就労準備支援、中間的就労の開発、居住支援等

# 事業の目的

## ■解決したい課題

がん患者に対する就労支援の社会的なニーズや期待が高まる一方で、医療現場においては、社会福祉の立場から患者や家族の抱える経済的、心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図る医療ソーシャルワーカーの業務量を考えると、一人ひとりの患者の個別な状況に応じた就労支援までとても手が回らないのも仕方のない状況である。今後、日本全体で人口減少傾向が進行していくなか、働く世代のがん罹患者等、一般労働市場で十分活躍しうる労働能力を潜在化させることは社会にとって大きな損失である。誰もが社会において活躍できる社会の構築、例えがんになっても治療と仕事を両立出来、病状によっては一時仕事を離れ治療に専念した後に再び仕事に就けるなど、安心して働き暮らせる社会の構築、誰もが一人ひとりの能力を活かし活躍できる社会の構築が求められている。

## ■事業の目標

- 仙台市立病院がん相談センターと協働し来訪・電話相談含め年間300件の就労に関する相談を受け付ける。
- 仙台市内の事業所に対しがん患者の就労に関する理解を促進し、求人情報を収集し年間で25名の就労を決定する。
- 月に2回(年間24回)仙台市立病院において就労に関する出張相談会を実施する。
- 必要に応じて、社会保険労務士・弁護士等の専門家と連携し、傷病手当の手続き等、休職・復職に関する支援を実施する。

# 事業実施内容 事業の広報用ツールの作成

## ◆ 相談者・院内関係部署へ向けたリーフレットの作成

**支援内容**

**1. 「はたらく」をサポート**

**① 再就職支援**  
治療のために仕事を辞めたけれど、治療後、就労可能な方に、併走型の再就職支援を実施します。

**② 職場復帰支援**  
治療のために休職し、回復後、職場復帰を希望する方に、復職に向けた支援を実施します。

**③ 就労継続支援**  
治療しながら日常生活を送り、仕事をしている方に、治療と仕事を両立するための支援を実施します。

**2. 院内相談**  
仙台市立病院内で、就労継続、職場復帰、再就職など就労に関する相談、日常生活に関する相談を受付けます（無料）。ご利用には事前予約が必要です。  
\*相談は、月2回実施します。詳しい日程はお問い合わせ下さい。

**3. 情報提供**  
当センターでは、仙台市民協働事業実施制度に基づき、仙台市立病院と一般社団法人パーソナルサポートセンターが、がん患者等に対する再就職支援及び就労継続支援を行っています。

\*当センターでは、診断や治療について判断はいたしません。

相談 無料 秘密 厳守

治療と仕事の両立でお悩みの方へ

あなたや家族のワーキングサポートセンター

電話 **022-308-7111**  
【相談予約受付時間 / 8:30～17:00】

住所  
〒982-8502  
宮城県仙台市太白区あすと長町 1-1-1  
仙台市立病院  
総合サポートセンター 医療福祉相談室



運営主体：一般社団法人パーソナルサポートセンター

がんの治療と仕事の両立でお悩みのあなたへ。あなたの『はたらく』をサポートします。

がんという病気について、一人で抱え込んでいませんか。

“病気のことを伝えたいほうがいいの？”

“仕事を続けることが不安”

“プランクがあるけど再就職できるかな”

“入院したら収入が減ってしまった”

“傷病手当金などの制度がわからない”

そんなときは「あなたと家族のワーキングサポートセンター」にご相談ください。

ワーキングサポートセンターでは、仕事に関する不安や悩みの相談や公的支援制度の情報提供を行います。

一人ひとり、生き方が異なるように、がんとの向き合い方もそれぞれ。

一人ひとりが安心して生活できるように、あなたとあなたの家族にあった「暮らし」や「はたらく」をサポートします。

**5つのポイント**

- あなたの仕事に関する情報を十分にみつめます。
- 一人ひとりの希望に合わせた併走型就労支援をします。
- 専門家（社労士・弁護士等）と連携し、仕事と治療の両立支援をします。
- 仕事を継続しながら治療ができるよう、治療による仕事への影響について丁寧に説明します。
- スムーズに職場復帰できるように工夫や職場（上司や同僚）の理解を得るためのアドバイスを行います。

## ◆ 病院内掲示用のポスターの作成

# あなたや家族の ワーキングサポートセンター

相談  
無料

秘密  
厳守

がん治療の方で仕事のことでお悩みのあなたへ。

あなたとあなたの家族にあった「暮らし」や「はたらく」をサポートします。

一人で悩みを抱えないで  
ご相談ください。



### がん治療と仕事の両立で悩んでいる方の就労相談を行っています。

※治療と仕事の両立のために就労支援や情報提供を行う窓口です。  
※診断や治療について判断するところではありません。

まずはご相談ください【予約受付】

**☎ 022-308-7111** 【相談予約受付時間 8:30～17:00】

当センターは仙台市民協働事業実施制度に基づき、仙台市立病院と一般社団法人パーソナルサポートセンターが協働で、がん患者等に対する再就職支援及び就労継続支援を行っています。

仙台市立病院  
総合サポートセンター 医療福祉相談室  
住所 / 〒982-8502 宮城県仙台市太白区あすと長町 1-1-1

# 事業実施内容

## 相談件数の向上に向けた取り組み

- 相談会場に掲示する案内用のポスター作製

# 仕事や生活のことで お困りの方へ

# 本日相談日

がん治療と仕事の両立で  
悩んでいる方の  
就労相談を行っています。



あなたや家族のワーキングサポートセンター


.....  
仙台市市民協働事業【運営主体】一般社団法人パーソナルサポートセンター

相談会当日に相談会場のカンファレンス室の前にポスターを掲示



➤ 病院内のモニターを活用した広報

受付ロビー等に設置してある掲示用モニターに本事業の概要を掲示。



仙台市立病院内で、就労継続、職場復帰、再就職など就労に関する相談、日常生活に関する相談を受付けます（無料）。  
ご利用には 事前予約 が必要です。

治療と仕事の両立でお悩みの方へ

あなたや家族の

ワーキング

サポート  
センター



相談  
無料

秘密  
厳守

ひとりで悩まずに、  
ご相談ください。  
あなたとあなたの家族を  
サポートします。



当センターは、仙台市市民協働事業提案制度に基づき、仙台市立病院と一般社団法人パーソナルサポートセンターが、がん患者等に対する再就職支援及び就労継続支援を行っています。

# 事業実施内容

## 仙台市立病院内における就労に関する相談会の実施

### ◆ 仙台市立病院内での就労相談会を24回開催し、25件の相談を受け付けた

H29.4.13	第1回相談会開催：相談員2名 相談者数 0件	H29.4.25	第2回相談会開催：相談員2名 相談者数 1件
H29.5.18	第3回相談会開催：相談員2名 相談者数 0件	H29.5.23	第4回相談会開催：相談員2名 相談者数 0件
H29.6.8	第5回相談会開催：相談員2名 相談者数 2件	H29.6.20	第6回相談会開催：相談員2名 相談者数 0件
H29.7.13	第7回相談会開催：相談員2名 相談者数 1件	H29.7.25	第8回相談会開催：相談員2名 相談者数 0件
H29.8.10	第9回相談会開催：相談員2名 相談者数 2件	H29.8.22	第10回相談会開催：相談員2名 相談者数 3件
H29.9.4	第11回相談会開催：相談員2名 相談者数 1件	H29.9.26	第12回相談会開催：相談員2名 相談者数 0件
H29.10.10	第13回相談会開催：相談員2名 相談者数 1件	H29.10.25	第14回相談会開催：相談員2名 相談者数 2件
H29.11.10	第15回相談会開催：相談員1名 相談者数 2件	H29.11.29	第16回相談会開催：相談員1名 相談者数 1件
H29.12.12	第17回相談会開催：相談員1名 相談者数 2件	H29.12.27	第18回相談会開催：相談員1名 相談者数 0件
H30.1.9	第19回相談会開催：相談員1名 相談者数 0件	H30.1.24	第20回相談会開催：相談員1名 相談者数 2件
H30.2.13	第21回相談会開催：相談員1名 相談者数 1件	H30.2.28	第22回相談会開催：相談員1名 相談者数 1件
H30.3.13	第23回相談会開催：相談員1名 相談者数 0件	H30.3.28	第24回相談会開催：相談員1名 相談者数 3件

計25件

**4月から9月まで、定期的に毎月第2木曜と第4火曜に、市立病院2階のカンファレンス室において相談会を実施。**

# 協働について

## 仙台市立病院との事業実施に係る企画・打合せ

### H28.10 第1回事業開始前打合せ

- ・ 顔合わせと事業内容の確認共有
- ・ 事業周知方法、リーフレット・院内掲示用ポスター作成、事業ネーミング等検討
- ・ 相談会の時間帯検討

### H28.12 第2回事業開始前打合せ

- ・ リーフレット・ポスターの内容精査
- ・ 事業のネーミングを「ワーキングサポートセンター」に決定
- ・ 相談受付のフロー、個人情報取り扱い等について検討

### H29.3.3 第3回事業開始前打合せ

- ・ 相談会の実施場所、日程、体制、当日のスケジュール検討
- ・ 相談受付票の書式の検討

### H29.3.23 第4回事業開始前打合せ

- ・ 相談の予約受付から相談実施までのフローの確認
- ・ 広報用リーフレット・院内掲示用ポスターの活用方法検討
- ・ 予約受付票及び個人情報取り扱いの方法の確認

### H29.5.23 第1回事業開始後の振り返り打合せ

- ・ 相談件数低迷に対する対策を検討

### H29.10.5 第2回事業開始後の振り返り打合せ

- ・ 半期の事業実績の共有
- ・ 下期に向けた課題の抽出



## ◆ 仙台市立病院の本事業に対する積極的な関わり

- 綿密な打ち合わせと情報共有
  - 事業開始前及び開始後の事業進捗及び課題についての検討
- 事業実施に向けた体制の整備
  - 院内の関係部署及び患者に対する広報の実施
- 就労支援に対する理解と研鑽
  - 東北大学病院等、就労支援を既に実施している機関に対するヒアリング
  - 院内における就労支援に関する勉強会の実施

## ◆ 協働により認識できた課題

- 相談件数の伸び悩み
  - 目標設定にあたっての現状認識の甘さ
  - 患者のニーズの整理
- 医師に対する働きかけと理解促進
  - 診療体制や診察室の構造の理解及び医師のニーズ把握
- 患者にも病院にも企業にも分かり易い就労支援の検討
  - 癌に罹患した従業員の復職にあたって企業自身も不安を感じている
  - 患者・病院・企業に共通の就労に関するアセスメント票の作成と運用が必要

# 事業目標と成果

## 目標① 来訪・電話相談含め年間300件の就労に関する相談受付け

### 成果

- ・ 相談受付件数300件の目標に対して相談実績は25件で進捗率は8.3%であった。要因としては目標設定において東北大学病院のがんサロンの相談件数実績を参考にしていたが、実際に化学療法を実施している病床数や患者数を比較すると目標数値の設定に甘さがあった。
- ・ 相談件数が伸びていない現状に関して、仙台市立病院と課題認識を共有して対応策を検討し、実際に病院内受付ロビーのモニターを使った相談促進や看護師に対する勉強会の開催など院内の関係部署に対して本事業の周知と積極的な働きかけを行ったことで相談件数は前期に比べ増加したが、目標値を達成するほどには至らなかった。

## 目標② 求人情報を収集し年間で25名の就労を決定

### 成果

- ・ 相談者25名の内3名が就労決定に至った。就労決定率・進捗率ともに12%となっている。

# 事業目標と成果

## 目標③ 毎月2回、仙台市立病院内において就労に関する相談会を実施

### 成果

- 4月から9月まで、定期的に毎月第2木曜と第4火曜に、市立病院2階のカンファレンス室において相談会を実施。
- 9月までの反省をもとに、10月から3月までは毎月第2火曜と第4水曜へ実施日を変更し、場所も1階の総合サポートセンター窓口横の相談室へと変更して実施した。
- 目標の年間24回を実施することができた。

## 目標④ 必要に応じて、休職・復職に関する支援を実施

### 成果

- 相談受付25件の内、休職や復職に対する不安を訴える相談は8件と全体の32%を占めている。
- 実際の支援として傷病手当の手続き等の実務的な支援には至っていないが、不安な想いを相談する事によって相談者自身が気持ちを整理できて終了しているケースが6件、就労意欲が高まり就労支援を継続しているケースが2件となっている。

# 協働で取り組んだことによる効果と課題

## ■協働で取り組んだことによる効果

平成29年度の相談において、対応したケースでは仕事を辞め転職先を探している方の相談よりも、就労は継続できているが復職に向けた不安を抱えている方が多い事がわかった。

## ■H30年度に向けた課題

働く世代のがん罹患者等に対し、安心して治療に専念し、職場へ復帰あるいは働き続けられるように、当事者同士が少しでも不安を軽減し思いや経験を共有し合える環境（場）を整備するとともに、医療ソーシャルワーカー等と協働して課題の解決に取り組み、継続就労・再就職に向けた支援を実施することが課題である。

がん罹患者等一人ひとりに寄り添う就労支援を実施し、実際に就労継続を果たしている経験者から、就労先と実践した内容をシンポジウムなどを通して伝えていくことで、事業所等の理解を促進しながら、がんになっても安心して働き暮らせる社会になるよう働きかけていくことも課題となっている。

年度の事業を総括し、次年度は下記の点を目標とする。

- 月に2回（年間24回）仙台市立病院において就労に関する院内相談会を実施し、当事者のご家族からの相談にも対応していく。
- がん罹患者等の就労に関する状況への理解を促進するシンポジウムを開催し、仙台市内在住のがん罹患者等及びその家族等と仙台市内の事業所へ参加を呼びかける。
- がん罹患者等及び家族が集まるピア・サポートを想定したカフェを定期開催し、必要に応じ社会保険労務士や弁護士等の専門職を派遣する。
- クローズドでのホームページを活用して情報発信や交換ができる場をつくる。
- 医師と事業所に対して、がん罹患者等の就労に関するアセスメントを実施する（アセスメント票の作成）。
- 上記の取り組みにおいて、がん罹患者等及びその関係者からの相談対応100件を目指す。